

会長講演

ライデン大学医学部の学統

吉田 忠

一五七五年ライデン大学は創設された。カトリックのルーヴァン大学に代わり、プロテスタントの大学、殊にカルヴァン派の聖職者の養成が強く要望されたからであった。その後 Franeker (1585), Groningen (1614), Utrecht (1636), Harderwijk (1648) と相次いで大学が開設された。このほかに *Illustre School* と呼ばれる学校が Deventer (1630), Amsterdam (1632), Bois-le-Duc (1636), Breda (1646), Middelburg (1656) の各地にあり、なかにはアムステルダムのように医学や解剖学を教える場合があった。周知の通り、ふつう大学は内科医の養成を主眼とし、主要都市に外科医のギルドが存在したが、ここでは触れず、以下にライデン大学医学部の学問継承のアウトラインを列伝風に紹介する。

初期の教授たちはもっぱらヒポクラテスやガレノスの注釈と講義が中心であった。蘭学時代の草木譜で有名なドドネウスも一五八〇年代に教授を務めているが、晩年の三年間であり、主な活動はしていない。ちなみに医学部に最初に学生が登録したのは一五七八年九月のことであり、それも英国人であった。その約一ヶ月後に二人目の医学部学生としてオランダ人が初めて入学している。最初の学位は一五八〇年二月に授与された。

ライデン大学と言えば、プールハーヴェの名とともに臨床教育が有名であるが、この学統は一七世紀の Otto Heurnius まで遡る。一六三六年彼は大学当局を説得し、学生を聖セシリア病院の患者の問診により病歴、症状と徴候をとり、

予後と処置について自分で判断するよう指導したと言われる。この臨床教育は医化学で有名な F. de la Boe Sylvius に引き継がれて発展し、プールハーヴェにより高名になる。

ライデンで最初に解剖が挙行されたのはいつか判然としないが、一五九三年に解剖用死体確保の特権が与えられているから、公的にはこの時以来ということになる。かくして北ヨーロッパで最初の解剖教室 (theatrum anatomicum) が設けられ、公開の解剖も行われた。最初の解剖学教授は P. Pauw で、動物やヒトの骨格や他の標本を収集し、夏には解剖が行われないので、解剖教室に飾られ教育に用いられた。また一五九四年から菓草のための植物園 (hortus botanicus) が大学本館の裏側に設けられた。

一八世紀はプールハーヴェとともに始まるといっても過言ではない。彼については阿知波五郎博士の研究に譲り、ここでは彼がニュートンの機械論の医学への適用を強調し、一七世紀後半に影響のあったデカルト流の生理学をシルヴェウスとともに批判したことに言及するに留める。彼の死後臨床教育は衰退し、一七四四年以後セシリア病院でこれが行われた形跡はない。復活したのは一七八六年からで、一七九九年には市のセシリア病院とは別に、教育用の大学病院も開設された。一八世紀は解剖学で成果があがった。その代表は Albinus 親子と E. Sandifort である。殊に息子の B.S. Albinus は Johannes Mueller が「解剖学で何か新しいことがあると考えられるなら、それはアルビヌスの仕事にまで遡れる」と言ったといわれるように、ライデン解剖学の象徴的存在となった。またもう一方の息子の G. Sandifort も一九世紀初頭に解剖学教授となっている。

一九世紀の初めから半ばにかけて三八年間教授をつとめた C. Pruijs van der Hoeven は、彼の学生時代の医学教育の回想で、「E. Sandifort はプールハーヴェの医学入門の解説に終始し、Du Ruij の外科学と産科学は古いフランス学派のもので、Brugmans の化学と植物学の講義はアナクロニズムだ」と述べている。こういう彼自身医学教育にはラテン語が適していることを主張して烈しく批判された。事実一八二三年になっても、Groningen 大学を例外として、講義はラ

テン語で行われていた。医学の体制に、最近の科学の発展が十分に反映されていないという批判があったのである。伝統的に医学部教授は三ないしは四人で構成されてきた。フランス併合時代に一時七人の教授を擁するが、オランダ王国の復活後の一八一五年の条例では、ライデンは四人、ユトレヒトとグロニンゲンは三人と規定されていた。この状況は一八四一年になっても変わらず、私講師制もなかったから、同時代のドイツの大学が一二から一八人の教師陣を擁しているのに比べ著しく見劣りがした。したがって、教授科目は、解剖学、生理学、病理学、医学実習、薬草学、外科学、産科学、法医学とあったが、教授はこれら特定の専門分野の講座というよりは、医学部全体として任命され、各人が上記科目を分担していたのである。ライデンで専門の教授が登場したのは一八四八年で、この年産婦人科、眼科、法医学の最初の教授がそろって任命された。また解剖学から離れて、生理学専門の教授の任命はユトレヒト(一八五二)や他の大学に遅れをとったが、一八六六年に設置された。こうして一九世紀のライデンは医学の近代化と専門化への道を歩み始めた。

(東北大学東北アジア研究センター)